

時間割コード	G2B60609	開講年度	2026				
授業題目	ゴルフ					担当教員	杉本 光公
英文授業名	Golf						
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	全
講義室				授業形態	実技	遠隔授業科目	
						備考	【地域】場所：第2体育館、ウエストビークゴルフ場、松本カントリークラブ
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力					⇔	・生涯スポーツとして実施可能なゴルフの知識・手段を修得するためのきっかけを作る。
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	ゴルフのスイング、道具の選び方を学ぶ。またコースに出ることによって、実際のプレーを体験し、将来社会人の持つべき教養の一つとしてのゴルフを身につける。また、グループでゴルフの練習方法などのディスカッションを通して深くゴルフを理解するとともに、ゴルフ場でのマナーを学び、生涯にわたってゴルフを楽しむ素養を養う。 大学でスイングの基礎を習得した後、ゴルフ練習場（ゴルフコミュニティウエストピーク）で、練習を行い、その後、松本カントリークラブで、ハーフラウンドと1ラウンドの実習を行う、経費は実費として、3万円かかります。						
(5)授業のキーワード	ゴルフ						
(6)授業計画	初日（8/21） 第2体育館 1. オリエンテーション（第2体育館） 2. スイングの基礎1（スタンス、グリップ） 3. スイングの基礎2（コックからフルスイング） 4. フルスイングの基礎1（第2体育館） 2日目（8/28） 5. フルスイングの基礎2（7番アイアン） 6. フルスイング（ドライバー） 7. ゴルフ練習場で練習（ゴルフコミュニティウエストピーク） 3日目 8月31日（予定、変更の可能性あり） 松本カントリークラブ 8. アプローチ 9. パター 10. ルールとマナー 11. コースの攻め方 12. ハーフラウンド 4日目 9月1日（予定、変更の可能性あり） 松本カントリークラブ 13 1ラウンド（午前）（松本カントリークラブ） 14 1ラウンド（午後）（松本カントリークラブ） 15 まとめ（最後の15分 授業アンケート）						
(7)成績評価の方法	ゴルフの基礎的なスイングができ、コースに出て独り立ちできるゴルファーになっているかどうかを評価の基準とする。 具体的には、 ゴルフの道具について理解し、プレーの当日の行動が分かっており、プレー中、周りに迷惑をかけず、マナーを守って楽しくプレーを行えるかどうかを、コースで判断する。これによって、ゴルフを生涯スポーツとして身につけているかどうか判断する。						
(8)成績評価の基準	授業に積極的に参加し、ゴルフのルールとマナーを修得し、ゴルフコースを他人に迷惑をかけずに、安全にラウンドできるようになれば、可とする。 さらに、適切な状況判断を行え、パーを一つとれた場合は良とする。 さらに、パーを二つ以上とれた場合は、優とする。 パーを2つ以上取りルールに精通し、マナーの模範となれるものを秀とする						
(9)事前事後学習の内容	自分で、打ちっぱなしなどの練習を課す また、ゴルフショップに行って必要なものを購入することで事前学習とする。 コース終了後にレポートを提出することにより、事後学習とする。 ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	※eALPS上に掲載するオンラインガイダンスを事前に確認してください。 4/15（水）12:30～12:45（32番講義室）にて対面ガイダンスと集金を行いますので3万円をもってくることが。						

(10)履修上の注意	集中授業で行うので、指定日に参加できるものが登録すること、実施日は、ガイダンスを行うとともに掲示する予定.
(11)質問,相談への対応	e-mailにて対応 sugi_26@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	履修する全ての回に出席することを基本とします
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	補講で対応する
【教科書】	なし
【参考書】	安藤秀著 筑波大学で生まれた全く新しいゴルフ理論